

研究機関名：東北大学

受付番号：	2013-1-153
研究課題名	少年野球検診における肩肘痛および肘離断性骨軟骨炎の疫学調査ならびに身体所見との関係
研究期間	西暦 2013 年 7 月（倫理委員会承認後）～ 2015 年 7 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（少年野球検診のアンケート，超音波検査所見）
上記材料の採取期間	西暦 2012 年 1 月～ 2013 年 2 月
意義、目的	<p>2012年1月よりクリネックススタジアム宮城で少年野球チーム楽天ゴールデンイーグルスに所属する児童に対して野球検診を年1回行っており，肩関節，肘関節を中心とした病変の有無を調査することで，スポーツ障害の進行予防を目指している。</p> <p>この少年野球検診の中で，これまで知られていなかった病態が明らかとなり，新たな知見として学会発表ならびに論文投稿を行い，病態の周知に努めることを目的としている。</p>
方法	<p>2012年1，2月と2013年1，2月に行われた上記野球検診において，被験者の現在の症状，日常における野球への取り組み，練習量に関連したアンケートを収集した。また，同検診において，被験者に対し，フィジカルチェックを兼ねた両側の肩，肘関節の関節可動域などの評価を行っている。測定として，非侵襲的な検査である超音波診断装置（Sonosite 社，帯型超音波診断装置 M-TurboTM）を用いて，以下について測定した。</p> <ul style="list-style-type: none">・肩関節内の腱（腱板）の厚さ・投球側および非投球側の上腕骨の成長に伴う捻れ（上腕骨後捻角）の違い・野球に関連した肩鎖関節の異常所見の有無・肘関節を制動する靭帯（側副靭帯）における病変の有無，頻度 <p>これらを被験者の年齢や野球歴で分類し，野球に関連した病態であるかを検討した。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学医学部整形外科分野 助教 山本 宣幸 TEL 022-717-7245